Claude Code 動画をつくる

撮った動画が、無音カット・字幕・BGM入りの編集版になる。

読む9分 ・ 4ステップ ・ 2026年11月11日更新

できあがるもの

無音カット・字幕・BGM入りの編集版と、場面を並べた絵コンテが「完成」に入ります。

先に確認：コマンドは確認してから許可。参考動画とBGMは使ってよいものだけ。



先に確認： Claude Code は、Mac でコマンドを実行し、ファイルを書き換えます。最初は権限モードを「Manual」にして、内容を見てから許可してください。参考の動画とBGMは、使ってよいものだけを入れます。

まず貼るプロンプト

そのままAIチャットに貼れます。〔 〕の中だけ、自分の内容に書き換えます。

役割

Mac の作業フォルダで、撮った動画を編集するアシスタント。

状況

作業フォルダに「元動画」「参考」「完成」の3つのフォルダがある。元動画には撮ったままの動画、参考には雰囲気の見本にする動画3本とBGMの音源（どれも使ってよいもの）が入っている。編集ソフトは使わず、FFmpeg・auto-editor・Whisper で作業する。

入力 ここだけ書き換える

編集する動画：〔ここに書く。例：元動画/店内紹介.mp4〕／字幕の言語：〔例：日本語〕／BGM：〔例：参考/bgm.mp3。入れないときは「なし」〕

作業

次の順に進める。①参考の動画3本から静止画を数枚ずつ切り出して見て、字幕の位置・大きさ・色の傾向を3行にまとめる。まねはせず、雰囲気だけを参考にする。②auto-editor で無音の区間を切る。③②で無音を切った動画を Whisper で文字にし、字幕ファイル（srt）を作る。④①の傾向に合わせて字幕を映像に入れ、BGMを声より小さく混ぜる。FFmpeg の subtitles フィルタが使えないときは、ほかの入れ方を提案し、確認をとってから進める。⑤編集版から静止画を数枚切り出し、1枚の絵コンテ画像にまとめる。

制約

元動画フォルダのファイルは消さず、上書きしない。書き出すのは完成フォルダだけ。足りないツールがあれば、入れる前に何を入れるかを伝えて確認をとる。参考の動画3本の映像と音声は使わない。編集版に入れてよいのは、参考フォルダのBGMの音源だけ。

出力

元動画と同じ名前に「_編集版.mp4」「_字幕.srt」「_絵コンテ.jpg」を付けた3つを、完成フォルダに保存する。最後に、元の長さと編集後の長さ、使ったコマンドを短く報告する。

検証

字幕ファイルを読み直し、聞き取りに自信がない言葉を一覧にする。絵コンテ画像を見て、字幕が画面からはみ出していないかを確かめ、結果を2〜3行で報告する。

進め方（終わったらチェック）

- [ ] デスクトップアプリを入れて、Code タブを開く
- [ ] 3つのフォルダを作って、Claude Code で開く
- [ ] ツール5つを、プロンプト1回で入れてもらう
- [ ] 撮った動画を「元動画」に入れて、まず貼るプロンプトを送る

最短ルート

準備するのは、Mac と Claude のデスクトップアプリ（有料プラン）、撮った動画1本、見本の動画3本、BGMの音源です。

次の2つだけで始められます。

1. 「元動画」「参考」「完成」を入れた作業フォルダを、Code タブの「Open folder…」で開き、STEP 3 のプロンプトでツールを入れてもらう。
2. 元動画に撮った動画、参考に見本の動画3本とBGMを入れ、「まず貼るプロンプト」の〔 〕（動画・字幕の言語・BGM）を書いて送る。

前提

必要な環境	Mac と Claude のデスクトップアプリ。アプリは macOS 版と Windows 版があり、この記事は Mac の手順です。使うツールは Homebrew・FFmpeg・auto-editor・Python・Whisper の5つです。
費用・無料の範囲	Claude Code には Pro・Max・Ultra・Team・Enterprise のいずれかのサブスクリプションが必要と、公式ドキュメントにあります。ほかのツールの費用・ライセンスは、各公式ページで確認してください。
日本での利用	Anthropic が提供している国と地域の一覧に、日本があります。

手順

「まず貼るプロンプト」は、STEP 4 の編集をまとめて頼む文です。STEP 1〜3 は最初に一度だけ行う準備です。

STEP 1 / 4

デスクトップアプリを入れて、Code タブを開く

Claude のデスクトップアプリは、Claude Code の公式ドキュメントにあるダウンロードの案内から入れます。入れたら、サイドバー上部の「Code」タブをクリックします。デスクトップアプリで Claude Code を使うのが、この Code タブです。

プロンプトボックスの下の行で、権限モードを確認します。「Manual」のときは、Claude がファイルを編集したりコマンドを実行したりする前に確認を求めます。

STEP 2 / 4

3つのフォルダを作って、Claude Code で開く

Finder で作業フォルダを1つ作り、その中に3つのフォルダを作ります。名前と分け方は当サイトの型です。

フォルダの分け方

元動画　撮ったままの動画（例：店内紹介.mp4）

参考　見本の動画3本と、BGMの音源（例：bgm.mp3）

完成　はじめは空。編集版・字幕・絵コンテが入る

Code タブで、プロンプトボックスの下の環境セレクタをクリックし、「Local」グループの一番上の項目を選びます。次に、その横のプロジェクトフォルダのコントロールから「Open folder…」を選び、作業フォルダを選びます。Claude はこのフォルダのファイルを読み取り、権限モードにしたがって変更し、コマンドを実行します。

STEP 3 / 4

ツール5つを、プロンプト1回で入れてもらう

編集に使うツールは、ターミナルで1つずつ入れずに、Claude に頼みます。役目は次のとおりです。

ツール	役目	公式の入れ方
Homebrew	ほかの4つを入れる道具	公式ページの1行の命令を ターミナルに貼る
FFmpeg	映像・音声の変換、BGMを混ぜる、 静止画を並べる	`brew install ffmpeg`
auto-editor	音量などを見て、映像・音声を自動で 編集する	`brew install auto-editor`
Whisper	声を聞き取って文字にし、字幕ファイル （srt）にする	`brew install openai-whisper`

ツール	役目	公式の入れ方
Python	Whisper を動かす土台	Homebrew の openai-whisper といっしょに入る

ツールを入れるプロンプト（そのまま貼れます）

動画の編集に使うツールを、このMacに入れてください。
使うのは Homebrew・FFmpeg・auto-editor・Whisper（openai-whisper）と、Whisper が使う Python です。
すでに入っているものは入れ直さないでください。
FFmpeg・auto-editor・openai-whisper は Homebrew で入れます。
Homebrew が入っていなければ、ターミナルに貼る公式の1行を見せてください。
実行する前に、コマンドを1つずつ見せてください。
最後に、5つのバージョンを確かめて一覧にしてください。

コマンドごとに確認が出るので、内容を見てから許可します。Homebrew を入れる命令は、パスワードを求めることがあるので、ターミナルに自分で貼ります。途中で Command Line Tools のインストール画面が出ることもあります。auto-editor は、公式のインストール案内にある Homebrew で入れます。

STEP 4 / 4

撮った動画を「元動画」に入れて、まず貼るプロンプトを送る

撮った動画を「元動画」に、見本の動画3本とBGMを「参考」に入れ、「まず貼るプロンプト」の〔 〕を書いて送ります。Claude Code は画像を読めるので、参考の動画から切り出した静止画を見て、字幕の位置や大きさを読み取ります。

出力例：前と後

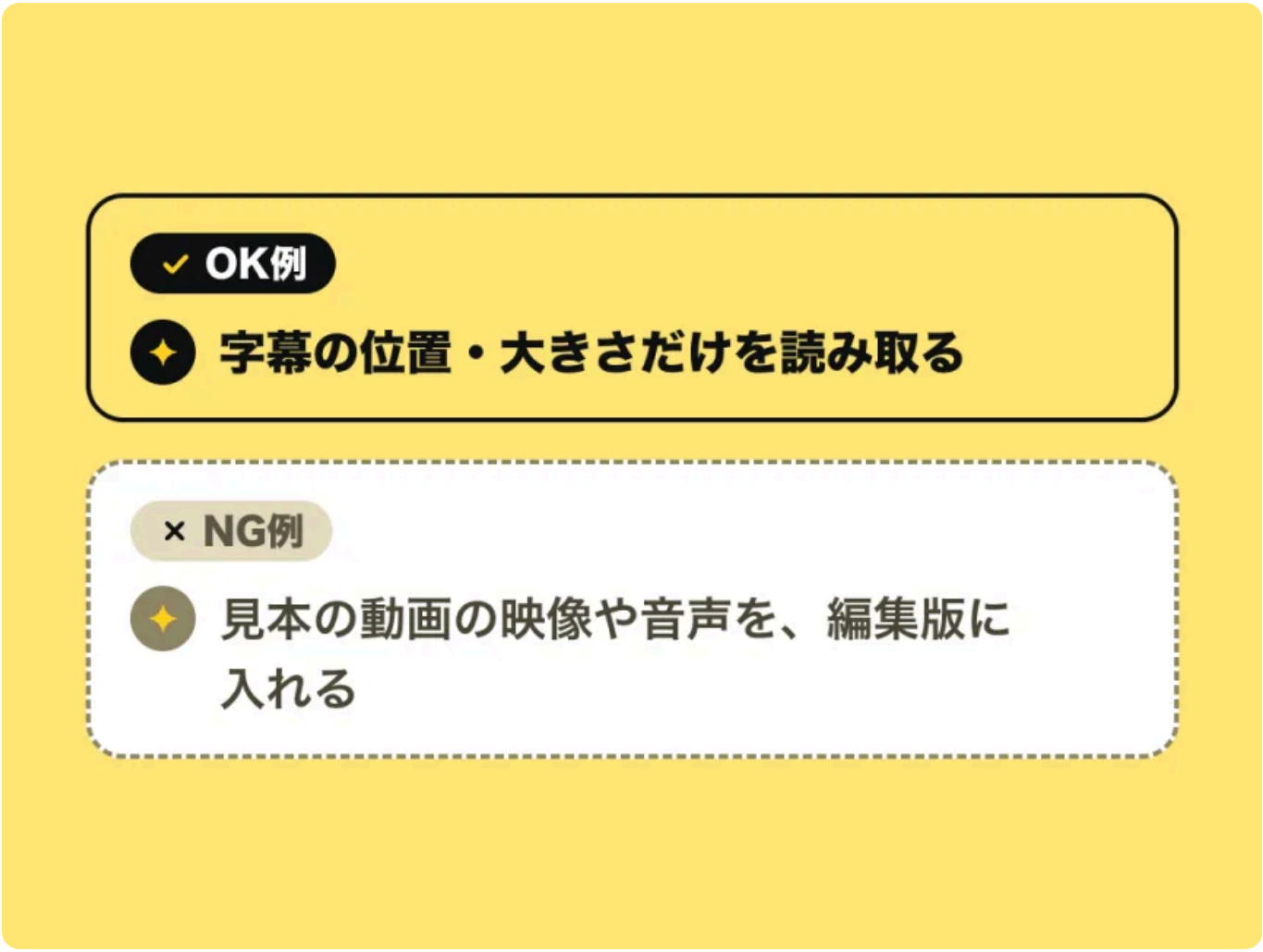
前
元動画/店内紹介.mp4（撮ったまま）

後
完成/店内紹介_編集版.mp4（無音カット・日本語字幕・BGM入り）
完成/店内紹介_字幕.srt
完成/店内紹介_絵コンテ.jpg

出力例：字幕ファイル（srt）の中身

```
1
00:00:00,000 --> 00:00:02,400
いらっしゃいませ。店内をご案内します。
2
00:00:02,400 --> 00:00:05,100
こちらが窓ぎわのお席です。
```

まず絵コンテで全体を見て、直したいところは同じ会話で「字幕をもう少し下に」「BGMをもう少し小さく」のように伝えます。



当サイトの型にもとづく、参考の動画の使い方の例です。



つまずいたとき

うまくいかないときに貼るプロンプト（当サイトの型）

動画の編集が、思ったとおりになりません。同じ会話の続きとして答えてください。
原因として考えられることを3つ、短く教えてください。
そのうえで、どのコマンドや設定を変えればよいかを、変えたあとのコマンドといっしょに見せてください。
分からないことは、決めつけずに「分からない」と書いてください。
元動画フォルダのファイルは消さず、上書きしないでください。

うまくいかなかった点：〔ここに書く。例：言葉の頭が切れている〕

こんなとき	試すこと	公式資料の対応
brew が見つからず、ツールが入らない	Homebrew を公式ページの1行で入れてから、STEP 3 のプロンプトを送り直す。	Homebrew 公式ページのインストール命令
言葉の頭や終わりが切れている	無音を少し残す `--margin` を大きくしてもらう。	auto-editor README「--margin」

こんなとき	試すこと	公式資料の対応
字幕が映像に入らない	subtitles フィルタが使えるかを Claude に確かめてもらい、使えなければほかの入れ方を出してもらう。	FFmpeg 公式文書「subtitles」（libass が必要）
確認なしでコマンドが進む	プロンプトボックスの下の行で、権限モードを「Manual」にする。	Claude Code ドキュメント「Manual」

できないこと・確認できていないこと

- この記事の手順は、実際に動かして確認したものではありません。3つのフォルダ・2つのプロンプト・作業の順番は当サイトの型で、Claude や各ツールの公式の手順ではありません。
- 必要なプランは Claude Code ドキュメントの日本語版（11月11日確認）の記載です。無料プランでの扱いと、各ツールの費用・ライセンスは確認していません。公式資料は変わることがあります。
- Homebrew で入れた FFmpeg で、subtitles フィルタが使えるかは公式資料で確認できていません。そのときの字幕の入れ方は Claude の提案しだいです。
- 字幕の聞き取り違いや切れた言葉は、公開する前に人が見て直します。参考の動画やBGMを使ってよいかの判断は、この記事ではしません。

このPDFは https://ai-dougubako.com/posts/claude-code-video-auto-cut/ の内容をA4にまとめたものです（2026年11月11日版）。
Webでは、プロンプトをワンタップでコピーできます。ai-dougubako.comではCookie、アクセス解析、
広告トラッキングを使用していません。